

割合とは

割合とは「何倍になるか」ということです。



割合ときたら何倍

しかし、何かと比べて何倍 ですから、そのもとになる数が必要です。

つまり、もとになる数を1の長さにしたときに、比べたい量(調べたい量)がいくつの長さ(何倍)になるか

ということです。

6は3の何倍? 誰でもできますね、 $6 \div 3 = 2$ (倍) です。
↑
比べたい数 1に相当する数 これは3を①の長さにしたとき②の長さということ。
これが割合です。

では3は6の何倍? やはり $3 \div 6 = 0.5$ 0.5倍です。
↑
比べたい数 1に相当する数 分数で $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$ (倍) と答えてもいいですね。
これは6を①の長さにしたとき3は②の長さということ。

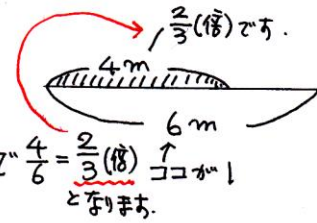
では次の問題はどうか。

6mを1にしたとき 4mは何倍?
6mをもとにしたときの4mの割合。

4mは6mの何倍? と同じことです。

4÷6 をやりますがわり切れません。分数で $\frac{4}{6} = \frac{2}{3}$ (倍) とわかります。
(主) $\frac{2}{3}$ 倍は1に対していくつ? なので倍と
とって単に $\frac{2}{3}$ と答えます。

この何倍にあたるかを出すことを (割合の第1用法) といいます。



次のように考えることもできます。

1に相当する数 ~の ~倍 または分数で $\frac{\sim}{\sim}$ の = 何倍 すなわち $B/A \Rightarrow A \div B = \frac{A}{B}$ です。
重要です。

(ポイント) 「~は」を くらべたい数
「~の」とか「~に対する」... もとにある数(量) といいます。